

第30回 全国街路事業コンクール応募資料

ふりがな 応募者名		いしかわけん けんおうどぼくそうごうじむしょ 石川県 県央土木総合事務所
街路事業	ふりがな 事業の名称	としけいかくどうろ てらまちいままちせん(ひがしやま) むでんちゅうかすいしんじぎょう 都市計画道路 寺町今町線(東山) 無電柱化推進事業
	ふりがな 事業機関	いしかわけん 石川県
	ふりがな 実施都市名	いしかわけん かなざわし 石川県 金沢市
事業概要 (400字以内)		<p>(都)寺町今町線の東山区間は、金沢市の主要な観光拠点である「ひがし茶屋街」や「卯辰山麓伝統的建造物群保存地区」に隣接する幹線道路であり、沿線には観光バス駐車場が立地するなど、「ひがし茶屋街」等の玄関口となっていることから、歴史的な街なみ景観の創出が求められているところである。</p> <p>本事業においては、歴史的な街なみの魅力を高め、歩行者の安全性と回遊性の向上を目的として、無電柱化を実施し、平成26年度には、北陸新幹線金沢開業にあわせ、事業延長280mのうち130mを部分完成させ、平成29年3月に残る150mを完成させた。また、本路線と接続する「ひがし茶屋街」へのエントランス道路となる市道の無電柱化事業と連携を図り、一体的な整備を行った。</p> <p>整備にあたっては、歩行空間を最大限活用するため、地上機器を歩道敷外の公共用地に集約配置するとともに、既存の未使用管を活用したコスト縮減を図るなどの創意工夫を行った。</p>
事業規模		<p>○事業延長:L=280m</p> <p>○事業費:C=735百万円</p> <p>○幅員:W=15.5m</p> <p>○事業期間:H23~H28</p>
事業の目的		電柱によって障害されていた歩行空間や良質な景観を確保し、観光拠点のエントランスとしてふさわしいまちづくりを行うことで、更なる賑わいを創出する。
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全性の確保 ・にぎわいの創出(歩行者交通量 H26.10:3,232人/12h → H27.3部分完成 → H27.10:9,806人/12h) ・良質な景観形成
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協働等 ・事業反対等があったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 	<p>地域住民で構成される「東山大通りまちづくり協議会」を設立し、事業に関する連絡や調整を円滑に行うとともに、歩道の舗装、街灯のデザインについても検討を行い、地域の特性を活かした景観づくりを行っている。</p> <p>また、地域のまちなみ保全を目的としたまちづくり協定も作成しているところである。</p>



<回遊性・安全性の向上>

事業前



事業後



<賑わいの創出>

事業後



歩行者交通量
3,232人/12h → 9,806人/12h

<景観の向上>



地域住民で構成されるまちづくり協議会で
舗装・街灯のデザインを決定



事業前写真

平成24年5月撮影



平成25年9月撮影



平成27年6月撮影



事業後写真

平成29年4月撮影



平成29年4月撮影



平成28年9月撮影

